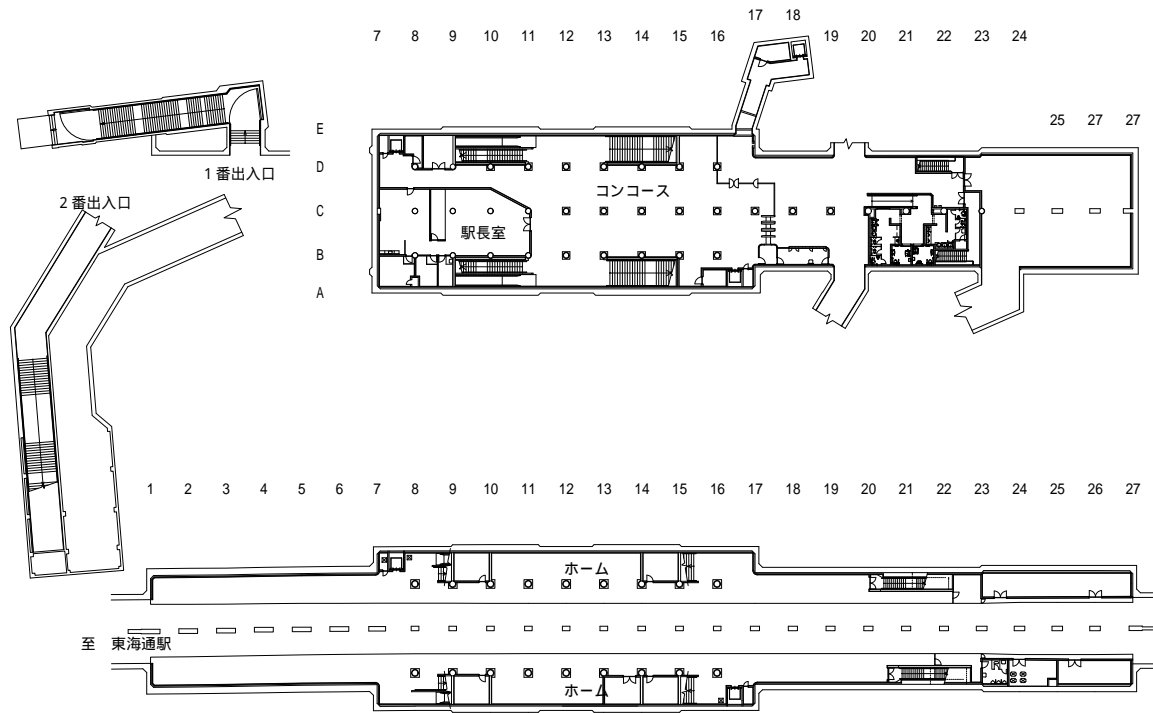
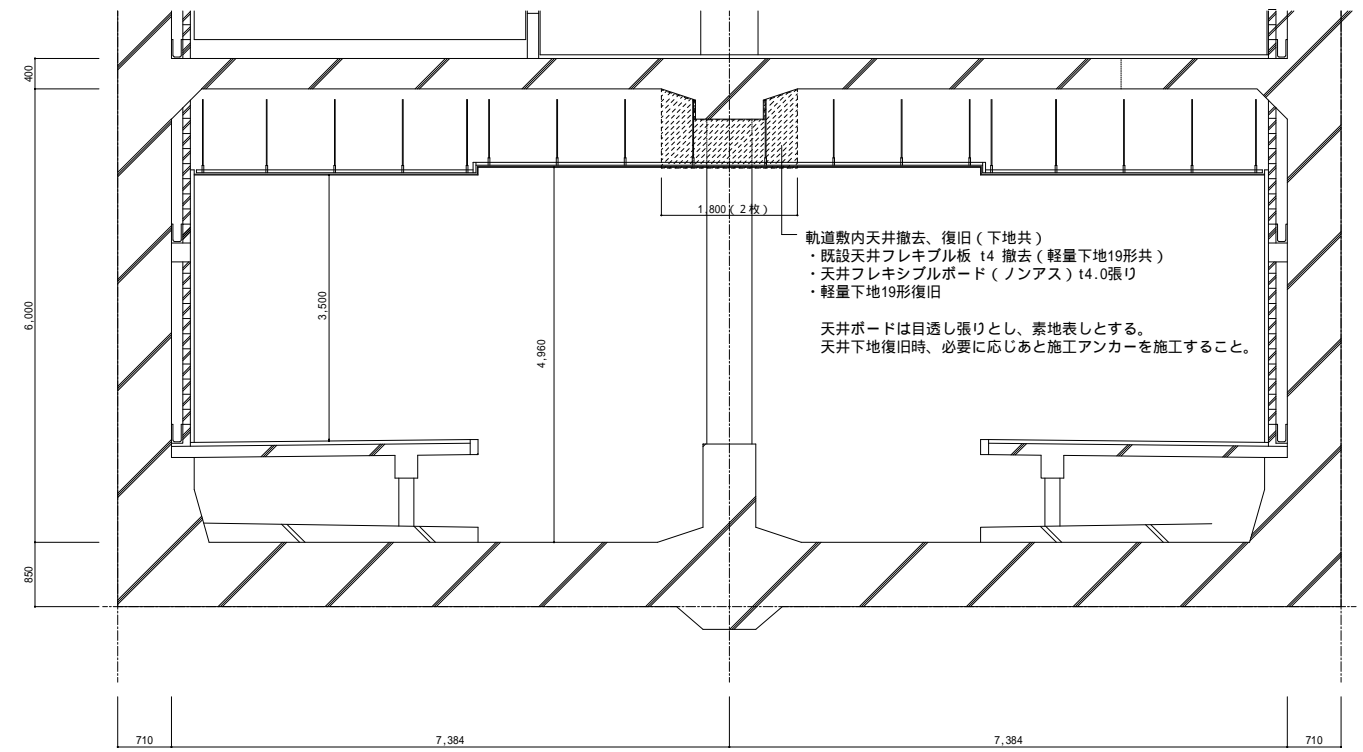


駅地下1階、2階平面図 S.1/500

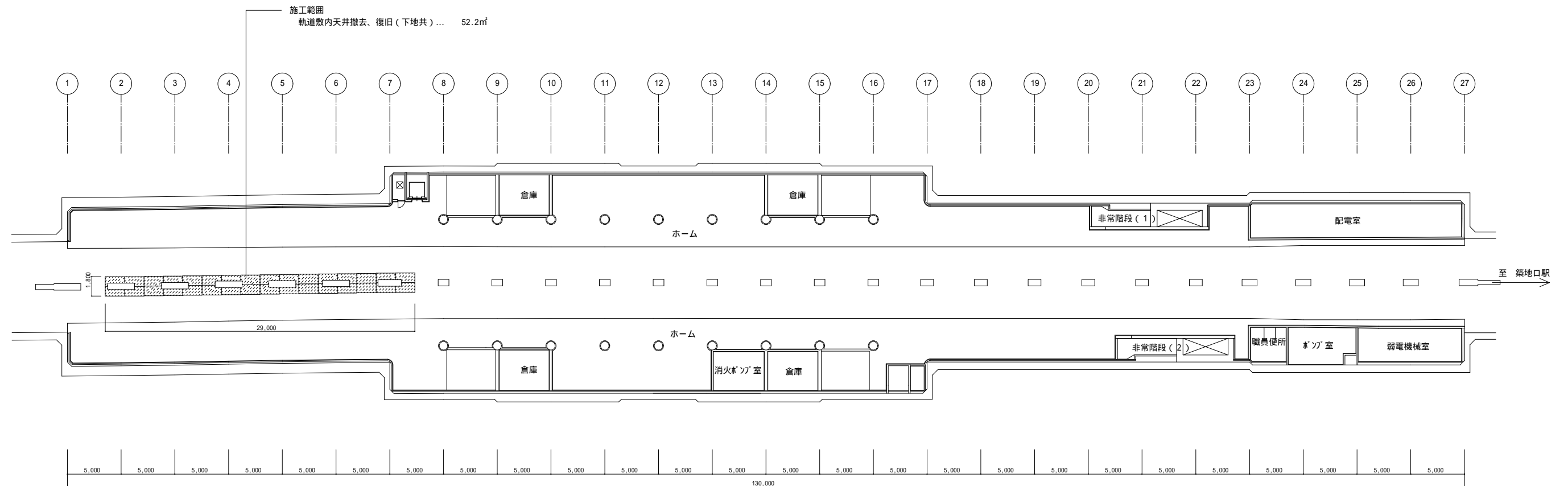


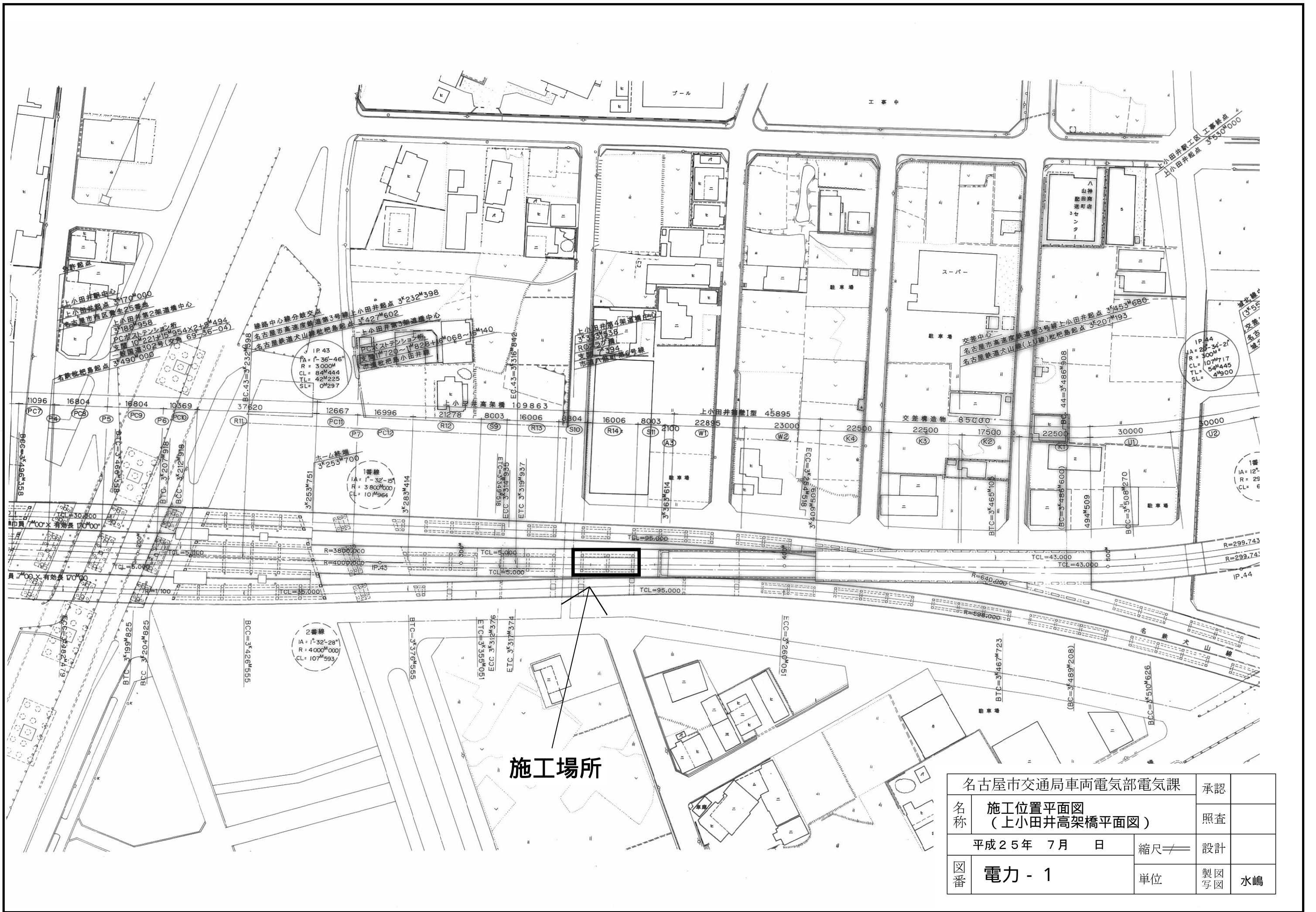
地下2階断面詳細図 S.1/50



高速鉄道港区役所耐震補強(2.5-1)工事(建築工事)			
図番	01	01 枚の内	
図名	駅地下1階、2階平面図	設計	平成 25 年 7 月
縮尺	地下2階断面詳細図	単位	MM 担当 住藤
名古屋市交通局		建築課	

地下2階天井伏せ図 S.1/200





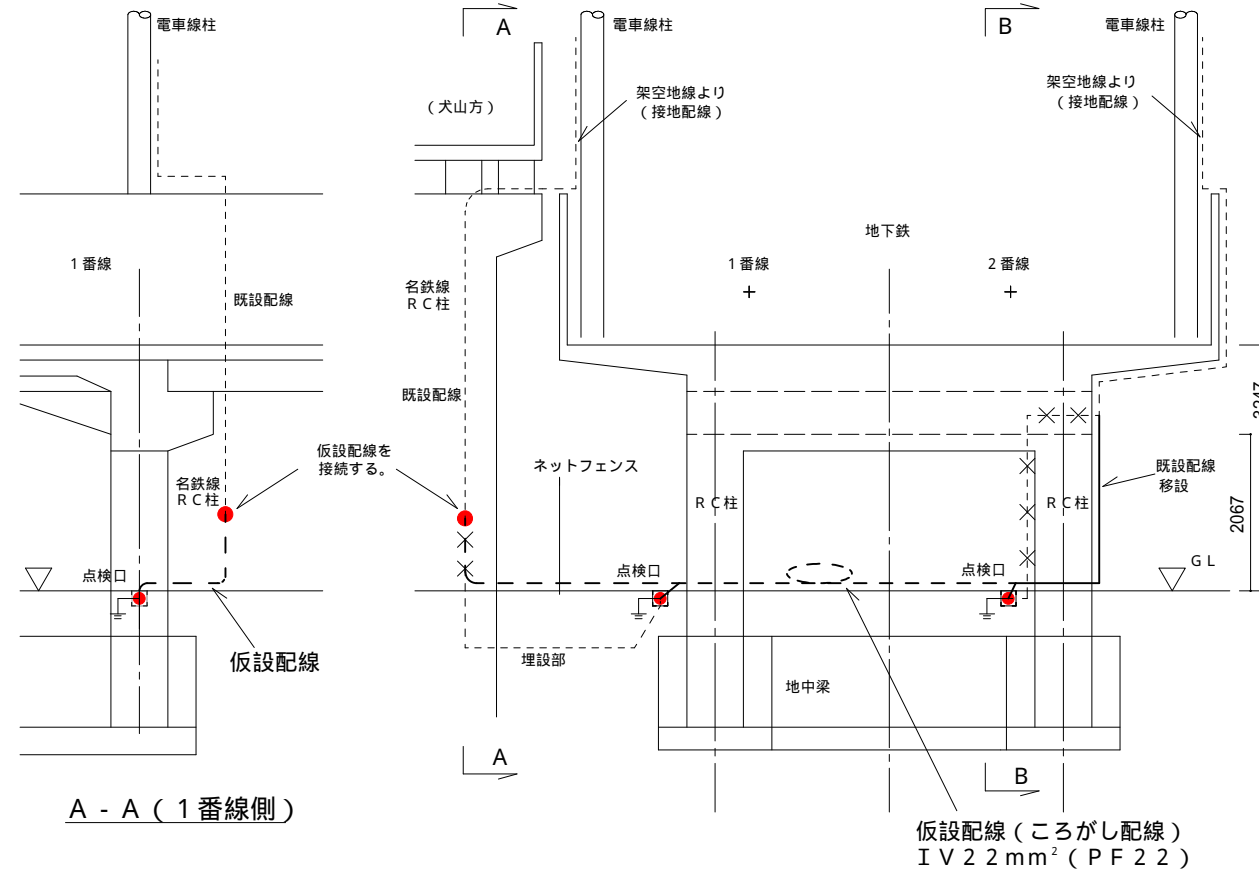
施工場所

名古屋市交通局車両電気部電気課		承認
名称	施工位置平面図 (上小田井高架橋平面図)	照査
	平成25年 7月 日	縮尺 1/1000
図番	電力 - 1	設計
	単位	製図 写図
		水嶋

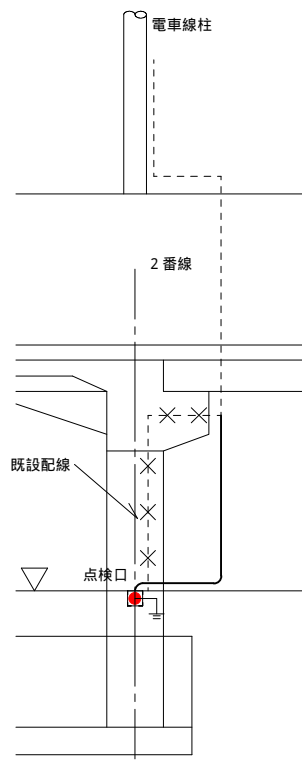
R C 柱補強前

支障移設

S=1/100



A - A (1 番線側)



B - B (2 番線側)

支障移設について

- ・ 3 k 3 5 3 M 5 1 1 の R 1 4 橋脚の R C 柱部に取付けられている接地配線は取り外し耐震補強工事 (土木工事) に支障しないよう移設すること。
- ・ 耐震補強工事 (土木工事) にて、R C 柱の周囲を掘削するため接地極の点検口は撤去すること。
ただし、既設の接地極は撤去しないこと。
- ・ 耐震補強工事 (土木工事) 中、工用地内に仮設の接地線を配線し高架上の電車線の架空地線の接地配線を点検口内で接地リード線と接続すること。
- ・ 耐震補強工事中、接地線を接地極から取り外すときは、もう一方の接地極に必ず接続し接地をすること。

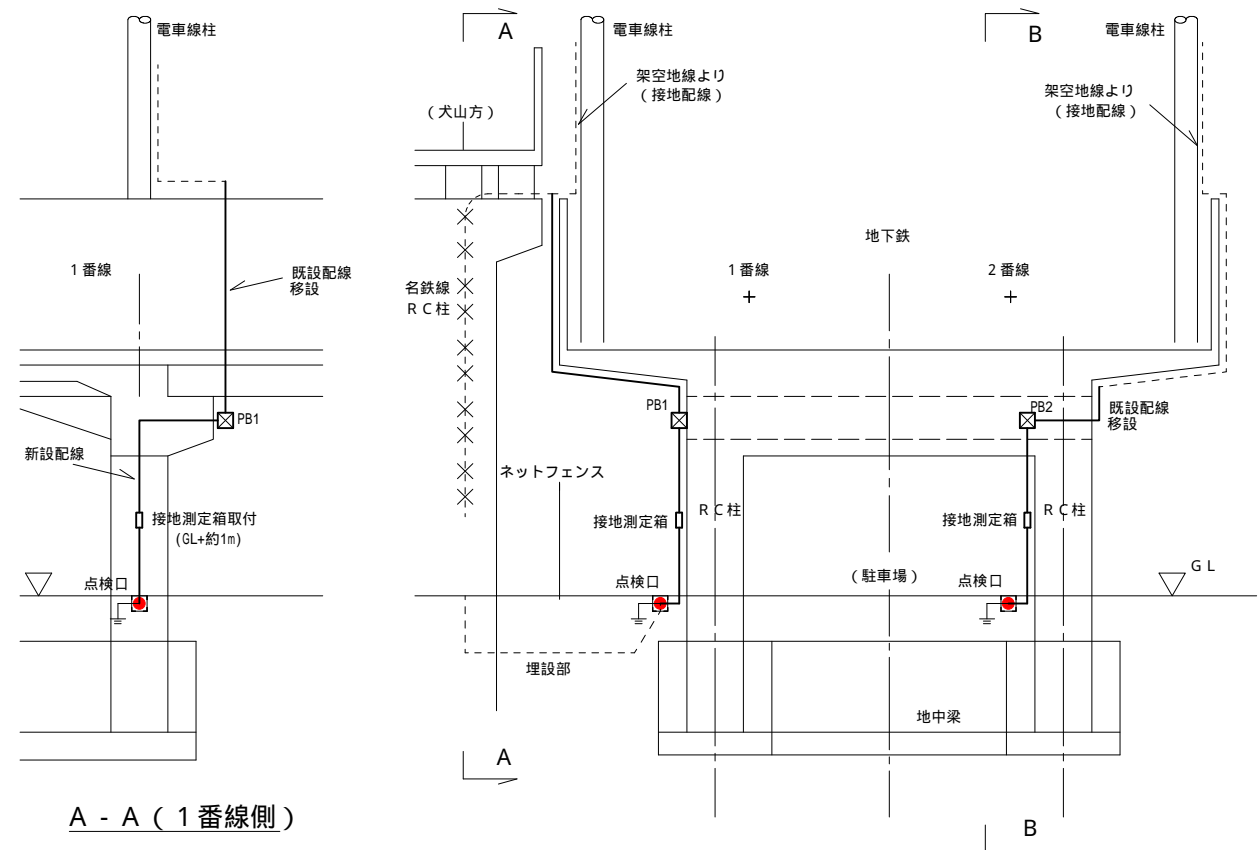
復旧工事について

- ・ 耐震補強工事 (土木工事) 後、配線を R C 柱に配線し直す。
- ・ 1 番線側接地配線は名鉄線 R C 柱から、当局 R C 柱に移設すること。
配管等のアンカー痕は補修すること。
- ・ 図のようにプルボックスを設け、高架上からの既設の接地配線と新設配線を接続すること。
- ・ 耐震補強工事 (土木工事) の埋戻し及び舗装前に点検口を新設し接地配線と接地極リード線を接続すること。
- ・ R C 柱に接地測定箱を新設すること。

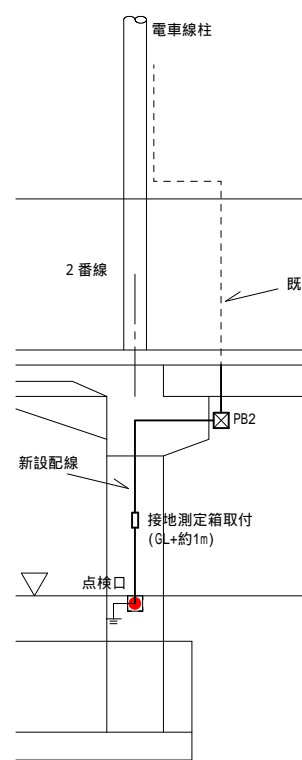
R C 柱補強後

復旧

S=1/100



A - A (1 番線側)



B - B (2 番線側)

- ・ 新設する配線は I V 2 2 mm² (P F - D 2 2)
- ・ P B は寸法タテ 2 0 0 × ヨコ 2 0 0 S U S 製、防水形、塗装なし。
- ・ プルボックス内の配線接続はボルトコネクタで接続すること。
- ・ 点検口内の接地線の接続はボルトコネクタで接続すること。
- ・ 接地配線の詳細は「接地極及び配線標準図」参照
- ・ 接地補助極詳細は、「測定用補助極施工標準図」参照
- ・ 接地測定箱は、「接地測定箱」図参照

凡例等

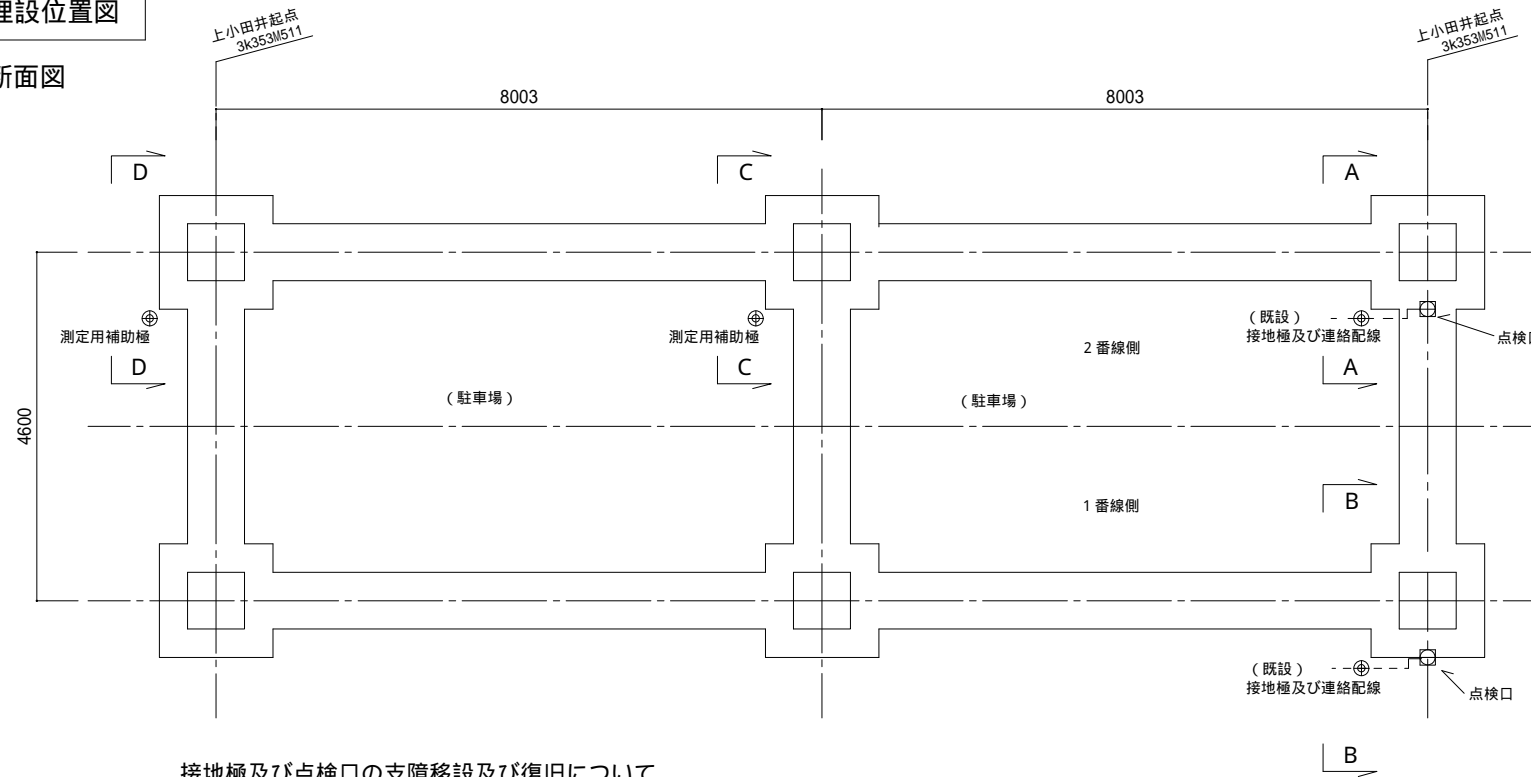
- 配管・配線新設 (又は既設配線の移設)
- ×---×---×--- 配管及び配線撤去
- 既設配線 I V 2 2 mm² (P F 2 2)
- ⊕ 既設接地極 (接地棒) 及び点検口

名古屋市交通局車両電気部電気課		承認
名称	上小田井高架橋 電車線用接地線 支障移設及び復旧図 1	照査
平成 2 5 年 7 月 日	縮尺	設計
図番	電力 - 2	製図 写図 水嶋
	単位 mm	

接地極埋設位置図

A - A 断面図

S=1/100



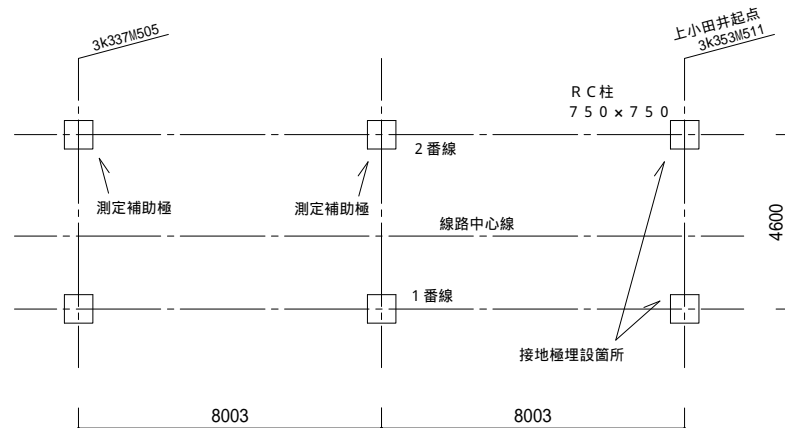
接地極及び点検口の支障移設及び復旧について

- ・上図3k351M551の既設接地極の点検口（2箇所）は、耐震補強工事（土木工事）にて掘削時撤去し埋戻し時に新設し復旧すること。
- ・上図の測定用補助極（2箇所）は、接地棒及び点検口は耐震補強工事（土木工事）掘削時に撤去し、埋戻し時に新設すること。
- ・点検口の位置は、定期点検等に支障の無い位置で、自動車の通行などの損傷を受けない場所とすること。
- ・接地配線の詳細は「接地極及び配線標準図」参照
- ・接地補助極詳細は、「測定用補助極施工標準図」参照

2 径間ラーメン橋 R 1 4

柱位置図

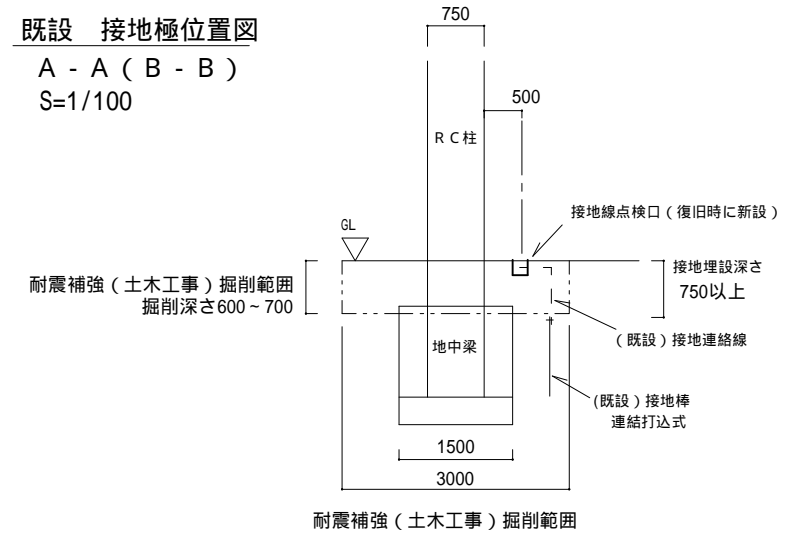
S=1/200



既設 接地極位置図

A - A (B - B)

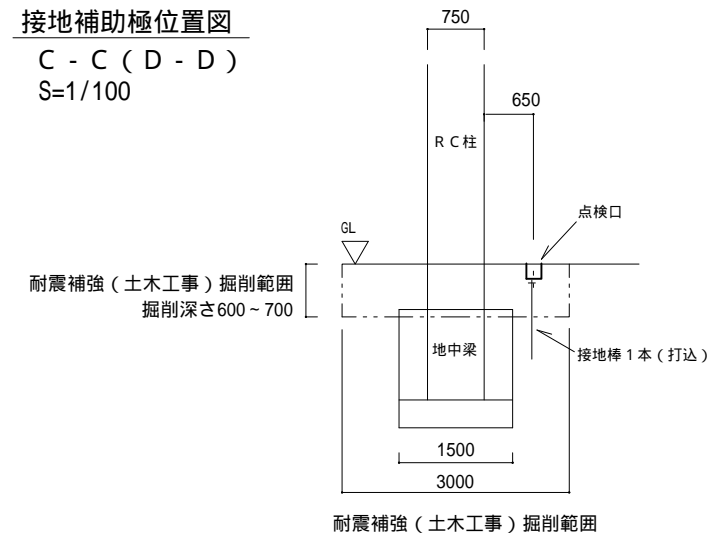
S=1/100



接地補助極位置図

C - C (D - D)

S=1/100

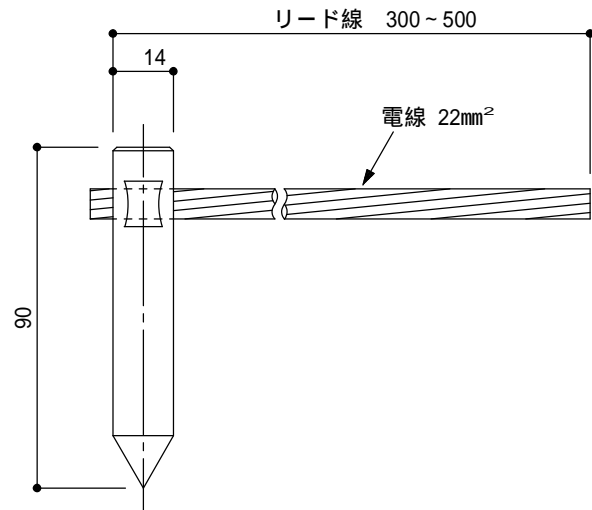


特記

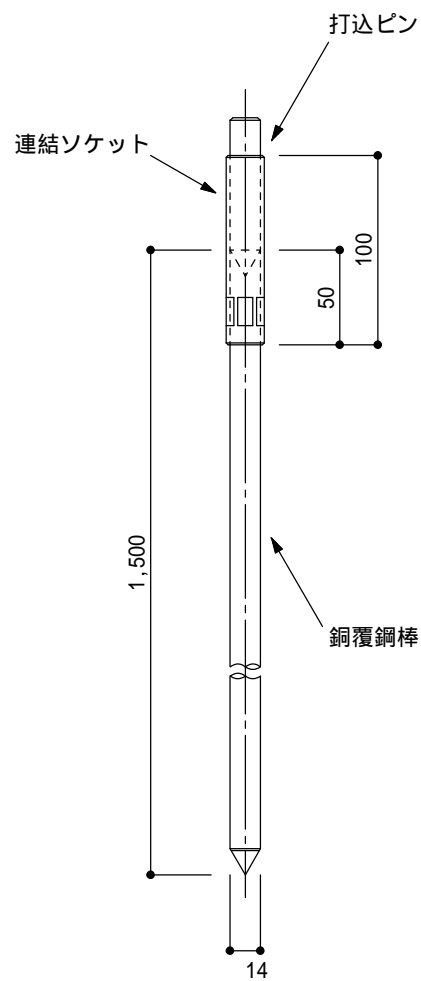
1. 接地極は工事中及び工事後も継続して使用するため、接地棒及びリード線を損傷させないこと。
2. 接地極は本工事施工前に測定を行い測定値を記録すること。
また、施工後及び検査引渡時に測定を行い、施工後に異常がないかを確認する。

名古屋市交通局車両電気部電気課		承認	
名称	上小田井高架橋 電車線用接地線 支障移設及び復旧図 2	照査	
平成 25 年 7 月 日	縮尺	設計	
図番	電力 - 3	製図 写図	水嶋

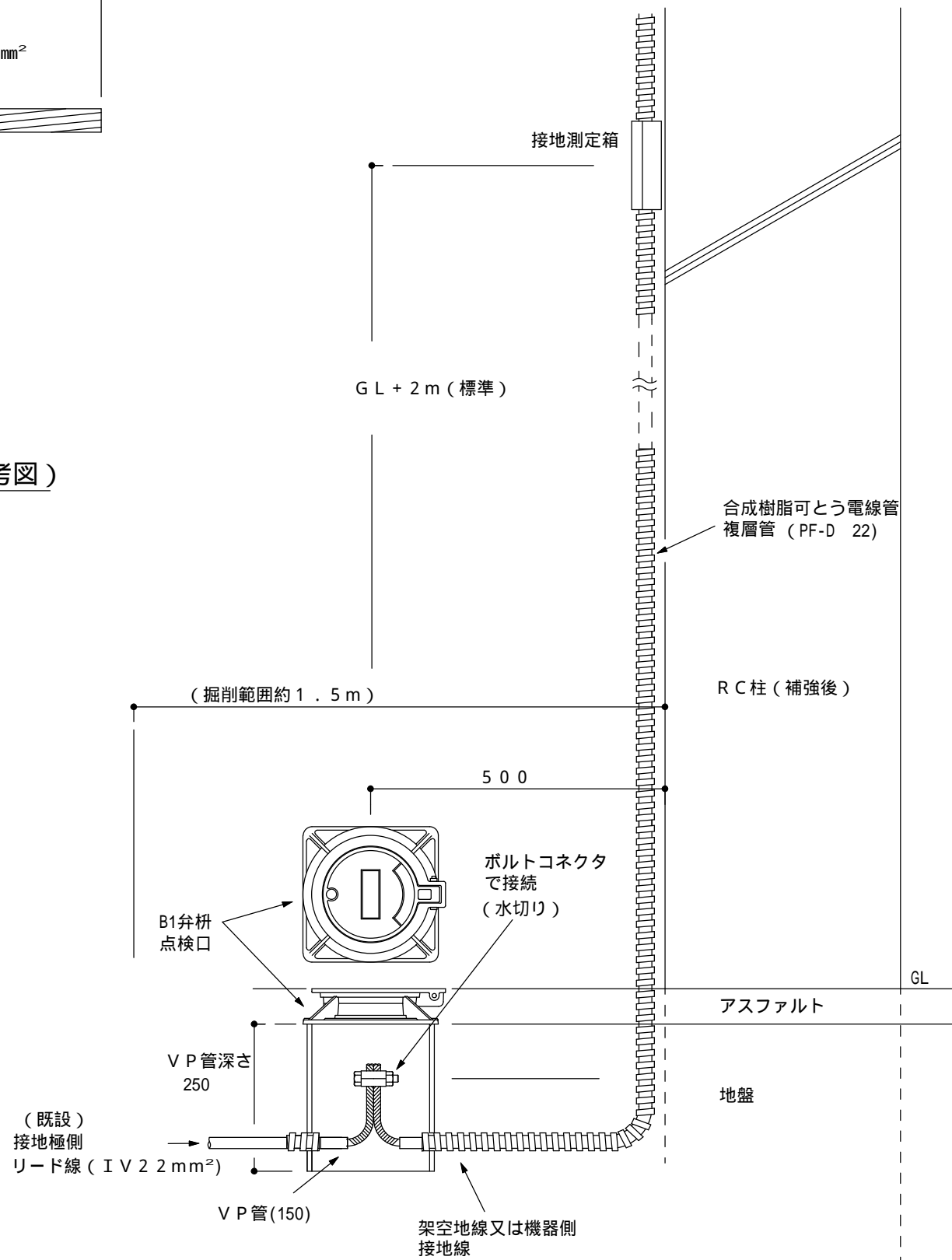
リード端子標準図 (参考図)



接地棒標準図 (参考図)

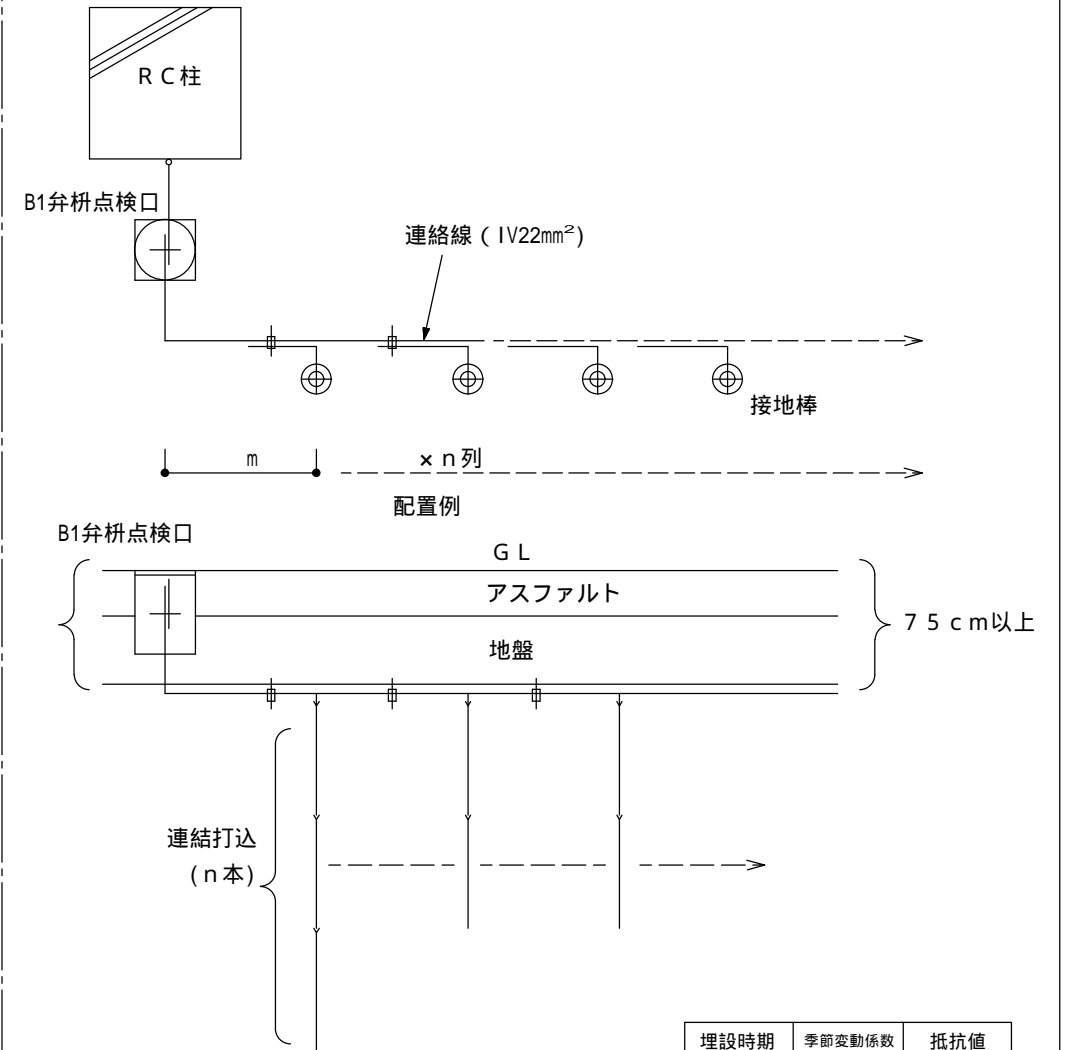


配線詳細図



・点検口の位置は、定期点検等に支障の無い位置で、自動車の通行などの損傷を受けない場所とすること。

接地極配置図 (参考)



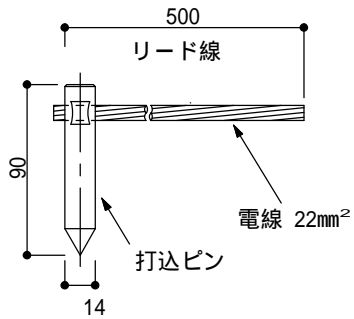
特記事項

- ・接地抵抗値 (規定値) は 30 。
- ・施工時は、測定値を右表の季節変動係数で除した数値に補正する。
- ・接地抵抗の測定は施工前、施工後及び引き渡しの3回行うこと。

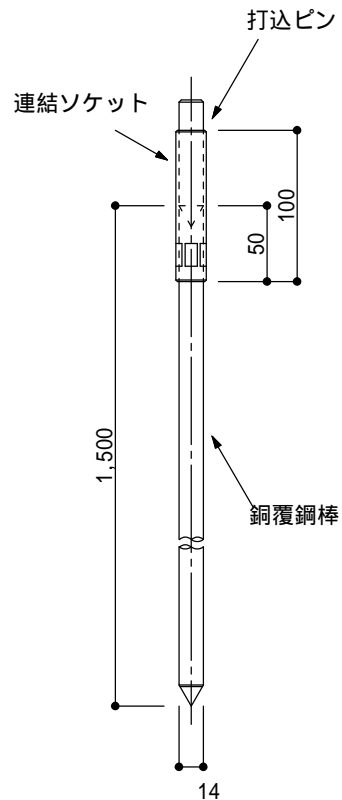
埋設時期	季節変動係数	抵抗値
1月	1.55	19.3
2月	1.57	19.1
3月	1.52	19.7
4月	1.39	21.5
5月	1.26	23.8
6月	1.16	25.8
7月	1.06	28.3
8月	1.00	30.0
9月	1.04	28.8
10月	1.16	25.8
11月	1.29	23.2
12月	1.45	20.6

名古屋市交通局車両電気部電気課		承認	
名称	接地極及び配線標準図	照査	
平成25年 7月 日		縮尺 1/10	設計
図番	電力 - 4	単位 mm	製図 水嶋

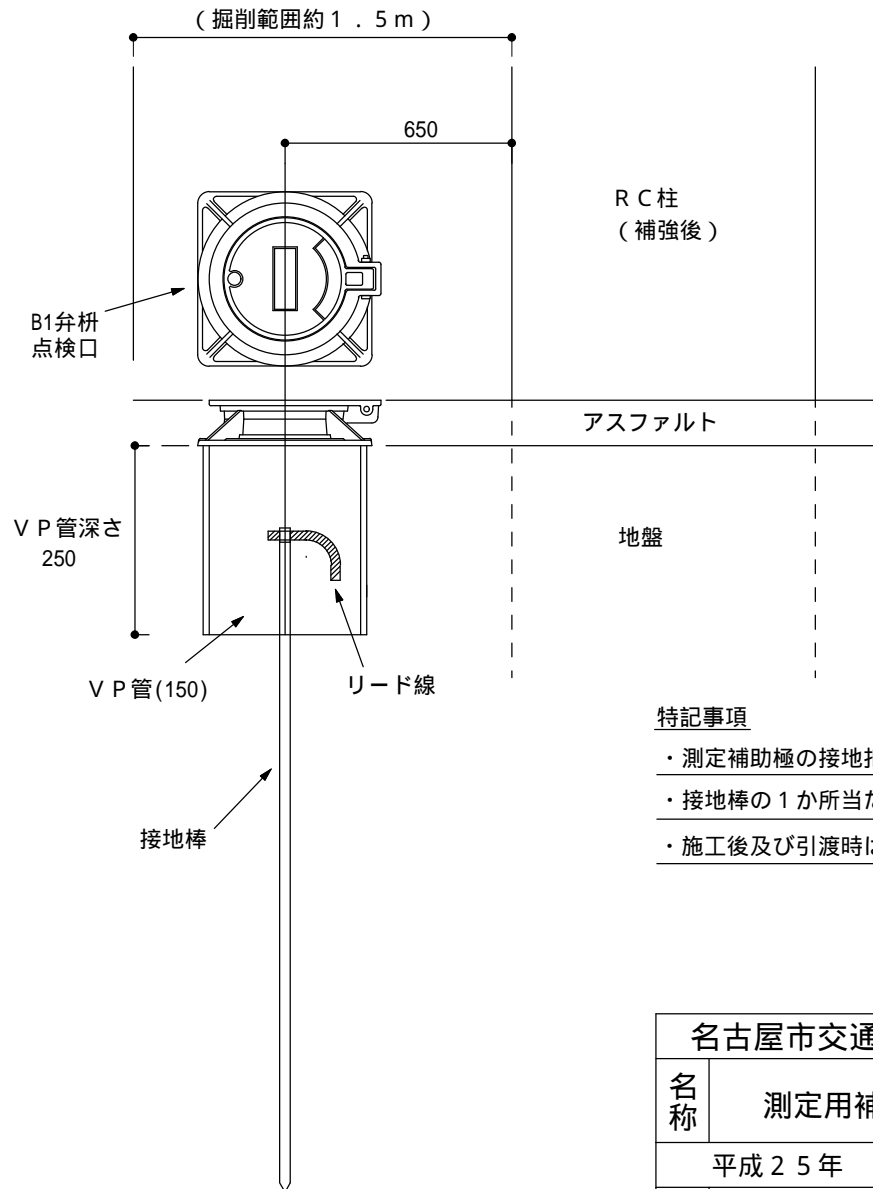
リード端子標準図



接地棒標準図



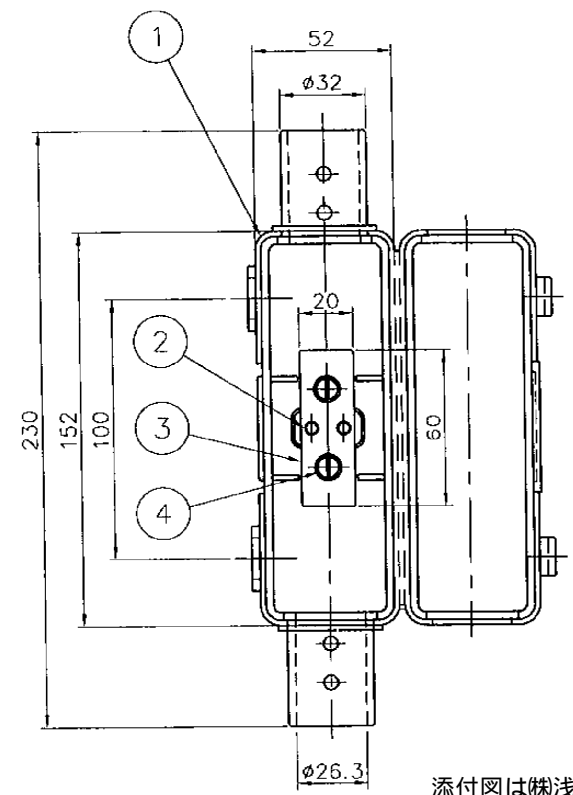
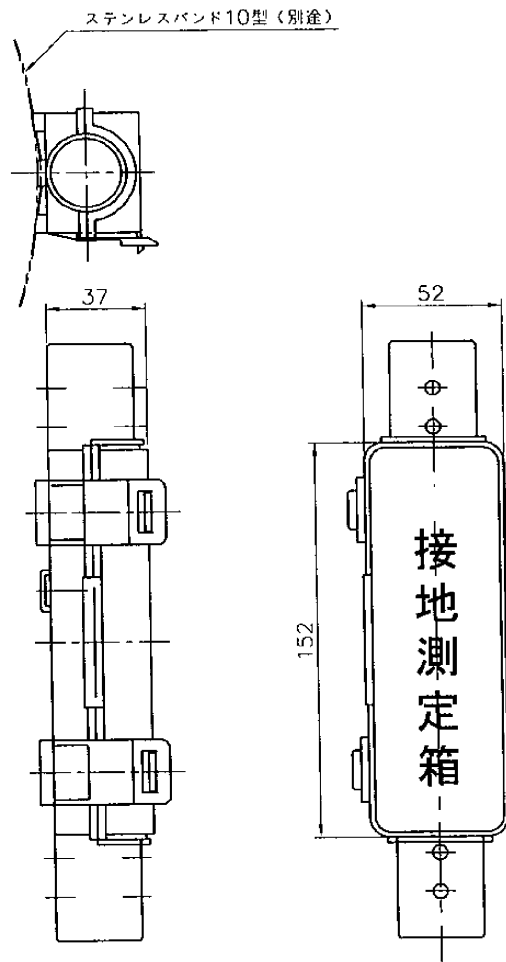
施工標準図



特記事項

- ・測定補助極の接地抵抗値の基準値はなし。
- ・接地棒の1か所当たり1本以上打込む。
- ・施工後及び引渡時は接地極の測定をこの補助極使用する。

名古屋市交通局車両電気部電気課			承認	
名称	測定用補助極施工標準図		照査	
平成25年 7月 日			縮尺 1/10	設計
図番	電力 - 5		単位 mm	製図 水嶋



添付図は(株)浅羽製作所製。
同社製または同等品を使用すること。

部品名称・仕様

- ボックス ポリプロピレン (3t)
- なべ小ねじ ポリカーボネート (M5×6)
- 端子金具 C1100P 銅板 (3t)
- すり割付ボルト類 C2600P (M5×10・PW・SW)

		名古屋市交通局車両電気部電気課		承認	
名称	接地測定箱			照査	
平成25年 7月 日				縮尺 $\frac{1}{1}$	設計
図番	電力 - 6			単位	製図 水嶋